

発刊者

北海道総合政策部 国際局国際課
〒060-8588

札幌市中央区北 3 条西 6 丁目

TEL:+81-11-231-5011

FAX:+81-11-232-4303

道南へ！

国際交流員たちの取材旅

道南いさりび鉄道

北海道が秋色に染まる季節。3人の国際交流員は道南いさりび鉄道の取材に出かけました。今回の取材では、道南いさりび鉄道沿線の歴史や観光スポット、グルメを体験しながら、皆さんに知られていない道南地域の魅力を伝えたいと思います。



皆さんこんにちは！私はイギリスから参りました英語圏の

国際交流員、ジョシュア・デヴォイと申します。2022年に来日し、2年間岩見沢市に住んでALTとして活躍しました。2024年8月から国際交流員として務め、これから北海道の様々な魅力や国際交流を海外をはじめ道内外の皆さんに知ってもらいたいと思っています。

ダジャーハオ！パンダの故郷である中国四川省出身の子

柳青枝（ウ リュウセイシ）です。私の前職は和菓子の講師で、和菓子や着物、茶道などの日本文化に携わっていました。四川出身なので辛いものが大好きですが、北海道の食もとても美味しく好きになりました。北海道で人生初のスノーボードに頑張っています

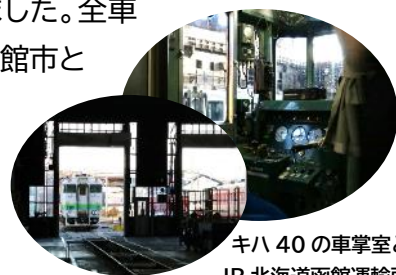


アンニョンハセヨ！韓国で「ご飯がおいしい街」として有名な

全州から来ました、国際交流員のソン・ミンジンです。私は運動が大好きで、重量挙げやインターバルトレーニングを組み合わせたクロスフィットに通いながらコツコツ筋力を鍛えています。2月には韓国ではできない流氷ウォークに挑戦する予定です！

道南地域に走る生活路線 道南いさりび鉄道

2016年3月26日、北海道新幹線の開業に伴い、道南いさりび鉄道は並行在来線として開業しました。全車両がキハ40というレトロ車両で、函館市と木古内町を結ぶ全長37.8kmの区間に12駅があります。この8年間、沿線住民の通勤、通学、通院、買い物など、生活路線としての使命を果たしてきました。もう一つの使命として、北海道と本州を結ぶ物流ルートの一翼を担っており、年間460万トンの貨物を両地域間で輸送しています。地域を走り、地域を結ぶ鉄道としての役割を果たしています。

キハ40の車掌室と
JR北海道函館運輸所

一年中見どころはたっぷり

道南いさりび鉄道の沿線には多くの見どころがあります。春には咲き誇る花々、夏には真っ青な海と津軽海峡に浮かぶ漁火、秋には黄金色に染まる山々、冬には伝統的な行事である寒中みそぎ、四季折々の見どころがあり、いつでも旅人の心を癒してくれると思います。



沿線四季折々の見どころ

「ながまれ」に乗ろう！

「ながまれ」とは、道南地域の懐かしい方言で、「ゆっくりして」「のんびりして」という意味です。地域情報発信列車「ながまれ号」は、JR北海道から譲り受けたキハ40形気動車2両を改装し、開業日とともに運行を開始しました。

鉄道の利用促進を目的に、観光列車「ながまれ海峡号」が企画され、観光客は日常生活に利用される列車の中で、地元の食材を使ったおでんや海鮮丼を味わいながら、車窓から函館山のシルエットラインや津軽海峡に煌めく漁火、そして道南の街の灯りを楽しむことができます。

地域情報発信列車「ながまれ号」



山吹色 (春)

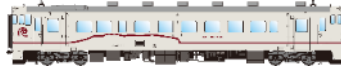


濃緑色 (夏)



濃赤色 (秋)

白色 (冬)



国鉄時代の急行色



国鉄時代の首都圏色

七色のオリジナルデザイン

塗装だけでなく、道南いさりび鉄道のロゴマークにも地元の人々の思い出が込められています。函館デザイン協議会の理事であり、ロゴマークのデザイナーである岡田暁さんはこう語りました。「ロゴマークを設計する際、12人のデザイナーが実際に鉄道現場を見学し、沿線の景色を視察した上で、100案以上のデザインを提案しました」

「その後、20案に絞り込み、さらに6案に精査して提出しました」。最終的に採用されたロゴマークは、鉄道、漁火、地元の地形などの要素を取り入れたもので、開業とともに使用が開始されました。

さて、今回私たち国際交流員3人は、この道南いさりび鉄道にて、どのような出会いがあったのでしょうか。

本州を結ぶ寝台特急「北斗星」

五稜郭駅で「いさりび1日きっぷ」を購入し、3人で電車に乗りました。この日は地元の人々の利用が多く、観光客の姿はほとんど見られません。列車が出発して間もなく、海が見えてきました。曇り空ではありましたが、朝の函館湾は静かで、とても美しい景色が広がっていました。乗車して約30分ほどで北斗市にある茂辺地駅に到着しました。そこで私たちを待っていたのは、かつて北海道と本州を結んだ寝台特急「北斗星」でした！

最後のブルートレイン

1988年に運行を開始した「北斗星」は、かつて東京上野駅と札幌駅の間を結び、走行距離1214.7kmを誇る寝台特別急行列車でした。運行開始当初は1日3往復という盛況ぶりを見せていましたが、2008年に北海道新幹線の夜間工事時間帯を確保するため、1往復に減便されました。そして2015年8月23日、最終の「北斗星」列車が上野駅に到着するとともに、多くの人々の夢をつないできた「北斗星」はその幕を閉じました。また、国鉄時代から続いた「ブルートレイン」の57年にわたる歴史も、この時幕を下ろすこととなりました。

ブルートレインは、JRグループによって運行されていた寝台列車の愛称です。車輻の色が青であったことを由来として、ブルトレとも略称されます。

四季変わるオリジナルデザイン

こうした道南の四季を楽しめる列車は、車両デザインにも工夫を凝らしています。一番人気を集めている地域情報発信列車「ながまれ号」のモチーフは、夏の海、函館山、そして煌めく漁火です。そのほかにも、春の山吹色、夏の濃緑色、秋の濃赤色、冬の白色、そして国鉄時代を思い起こさせる2種類のタラコ色と、四季折々の豊かな自然の表情を映し出す7色の列車が運行されています。

Japan RailwayのR



ロゴマークの意味



その後、地域の人々はこの思い出を守りたい、地元北斗市を同じ名前を有するこの列車で町を盛り上げたいという強い思いからクラウドファンディングを行い、1か月間で1700万円を集めました。そして、「北斗星」の2両を札幌市から北斗市まで、2日間かけて輸送しました。現在、この2両の列車は「北斗星スクエア」に保存され、ゲストハウスとして国内外の鉄道ファンを迎え入れています。

思い出を作る新たな役割



出会いの列車

北斗星の中を見学してみると、ほぼ当時のままで、何も変わらない懐かしい雰囲気が漂っています。宿泊者は、かつての寝台列車の雰囲気をそのまま感じられる客室で夜を過ごし、鉄道の歴史や思い出に浸ることができます。スクエアの向こうには列車全体を眺められる二つのコテージが宿泊施設として設置され、子ども連れの家族なども居心地よくのんびりできます。

携帯電話がない当時、北斗星に乗る人々はロビー車両に集まり、おしゃべりなどをして時間を過ごしました。そこで出会い結婚した人も多く、北斗星は出会いの列車とも言われました。そのような思い出を振り返りに泊まりに来る人もいます。現在

2両の列車はゲストハウスになり、一般見学ができません。日常の

清掃は地元のボランティアがしています。ゲストハウスからの収入は列車の日常修理、光熱費などに使い、列車は10年ごとに一回塗装をするので、経営はなかなか厳しいそうです。

ゲストハウスは冬季には休業しますが、春になると、近隣の人々が北斗星スクエアでピクニックを楽しむなど、北斗星との新たな思い出を作る場として賑わいます。その思い出は、やがて子どもや若者たちへと伝えられ、次の世代へ受け継がれていきます。



大人気の「ソロ」1人用個室B寝台

ローマへの道 トラピスト修道院

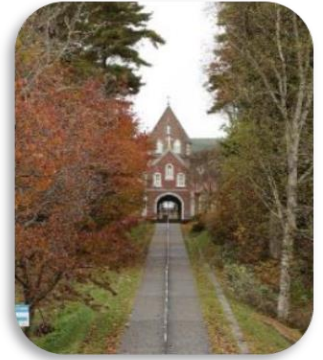
日本初の男子修道院 トラピスト修道院

1896年、フランス、オランダ、イタリア、カナダ
本初の男子トラピスト修道院「厳律シトー会灯
院では創立以来、農耕や牧畜が行われ
やクッキー、バター飴は、北海道を代表

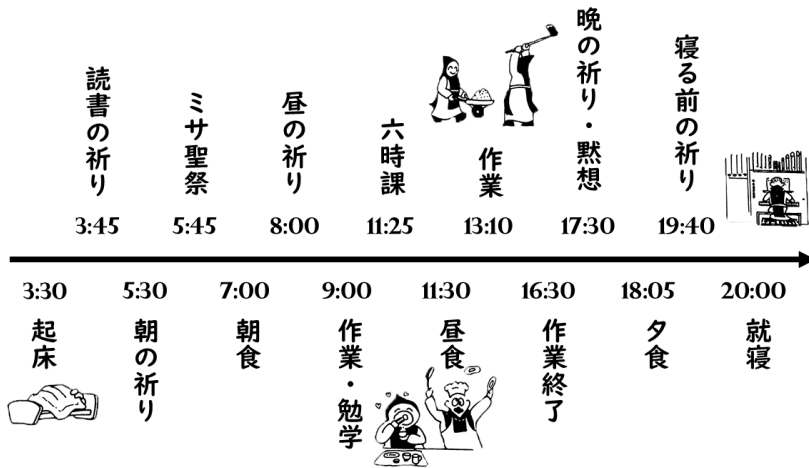
から総勢9人の修道士たちが函館を訪れ、日
台の聖母大修道院」を創立しました。修道
ており、ここで作られるトラピストバター
する観光土産として人気があります。



渡島当別駅で降りて歩いて間もなく、修道院へ続くスギとポプラの並木道が目に入りました。この晩秋の頃、修道院は紅葉に囲まれ、前方の緑の並木と相まって、まるで鮮やかな油絵のような景色が広がっていました。



ジョシュアの感想



トラピストの1日

自然に囲まれているトラピスト修道院を見た時、ここに住めば楽な生活ができると思いました。でも、修道院に入って、トラピスト修道院の1日を説明する可愛い絵を見て驚きました。修道僧は毎日朝3時半から起床し、神様に感謝するお祈りや修道院の整備、大人気のバターやクッキーを作るための作業を行います。トラピストの生活は平和かもしれませんが、楽ではないと思います。

ソン交流員が伝える食レポ！

日本初の男子修道院であるトラピスト修道院。実は、この修道院には地元の人なら誰もが知る、とびきり美味しい食べ物があります！トラピスト修道院では、自家製の牛乳を使ってさまざまな食品を作っていて、中でも特に有名なのが「バター」、「バタークッキー」、そして「アイスクリーム」です。

その中で、私を感動させたのはアイスクリームでした。注文すると、濃厚なミルクの香りがふんだんに漂うソフトクリームの上に、トラピスト修道院のバターで焼き上げたバタークッキーがひと切れ刺さって出てきました。

ひと口食べた瞬間、その美味しさに驚愕しました。個人差はあるかもしれませんが、私が今まで食べたソフトクリームの中で、これがダントツ一番でした。

まず、ソフトクリームが口の中でゆっくり溶けると、濃厚なミルクの香りが広がります。その後が続くのは、香ばしさとほのかな甘み。特筆すべきは、このアイスに添えられたバタークッキーです。このクッキーは、単体で食べると最初だけ甘く、最後には濃い香ばしさが口に残る、少し独特な味わいでした。しかし、このクッキーにアイスクリームを絡めて食べると、これがまさに「味覚の革命」！アイスがクッキーの甘みを補い、クッキーの香ばしさは倍増。口の中で2つの味が完璧に調和しました。単なるデコレーションだと思ったこのクッキーが実は、アイスクリームの「必須パートナー」だったので、2つが一緒になることで、それぞれの魅力を最大限に引き出し、全く新しい体験を生み出してくれました。

その魅力にはまった私は、個人用で購入したバタークッキーをさらにアイスクリームに刺して楽しみました。お昼前だったのでクッキー3枚で我慢しましたが、本当はもっと刺して食べたかったです！それくらい、この2つの組み合わせは抜群でした。



乳製品や甘い物が好きな方は、トラピスト修道院を訪れた際はぜひ、バタークッキーを追加購入して、アイスクリームを楽しんでください。その至福の味わいに、きっと感動するはずです！バターも試してみたかったのですが、購入後「1時間以内」に冷蔵保管が必要と言われ、購入できませんでした。これから行く予定の方は、保冷パックと保冷バッグを事前に用意して行きましょう。



見るだけでぞくぞくする！寒中みそぎ

渡島当別駅を出発し、綺麗な海の景色を眺めながら 30 分後、木古内駅に到着しました。早速、佐女川神社へ向かいます。そこで一人の男性が私たちを待っていました。

私たちを待っていたのは、寒中みそぎの行修者、齊藤さんです。

佐女川神社は木古内町薬師山の麓に位置しており、松前藩の河野加賀守源景広こうのかがのかみみなもとのけいこうが佐女川の辺りにほこらを建て、

武運長久ぶうんちやうきゆうを祈願したのが始まりとされています。この神社は、毎年 1 月 13 日～15 日に行われる神事「寒中みそぎ祭り」で、行修者の鍛錬の場としても有名です。

寒中みそぎの由来は、1831 年 1 月 15 日早朝、神社守の夢枕に「御神体を潔めよ」とのお告げがあり、神社守は佐女川の氷を打ち砕き、身を切るような氷水で自身を清め、御神体を抱いて海岸に臨むと、河口の波間に大鮫が現れ、その背中の上に美しい白衣をまとった女性の姿が見えました。神の使者だと思った神社守は御神体を何度も沐浴もくよくさせたところ、女性の姿は見えなくなり、大鮫は川の上流へ上がり、小さな沼に消えていきました。それから、村は豊漁豊作ほうりゆうほうさくが続きました。これが現在の寒中みそぎ祭りの始まりといわれています。

齊藤さんは行修者としてももう三年目です。1 年目から 4 年目の 4 人の行修者は佐女川神社で昼夜を問わず真水で何度も体を清め、1 月 15 日に別当・稲荷・山の神・弁財天べんざいてんの四体の御神体を抱き、寒い津軽海峡に飛び込んでその年の豊漁豊作を祈ります。

行修者の QA コーナー

Q:寒中みそぎはやっぱり寒いですか？

A:寒くないです(笑)

脇の下をしっかりガードするように教えられるので、それを守るようにしています。水をかけている人や受けている人よりも、水をかけてもらう順番待ちをしているの方が大変だったりします。

Q:体を清めるとき震えたりすることありますか？

A:私たちは神様の代行者ですから、体を清めるとき、震えてはいけません！でも、冷たい水が心臓に当たると危ないから必ず背中の方にかけます。

Q:普段、特別な修行、鍛錬をしていますか。

A:特にありません！でも行修者としてやってはいけないことがあります。

Q:寒中みそぎの行修者として何かタブーありますか？

A:まず寒中みそぎの期間中(13～15日)には四つ足動物のお肉を食べてはいけません。例えば豚、牛など。後は「し」と「す」を言ってはいけません。その代わりに「じ」を使います。時々笑い話になりますね。



歴代の行修者が使った草履



海に飛び込む前の様子



鍛錬中の様子

道の駅 みそぎの郷 きこない

寒中みそぎの話をお聞きいただけで、寒くなりました。早速、この旅の終点へ出発！なんと、道の駅は北海道新幹線と道南いさりび鉄道の駅前にあります！こんな立地は初めて見ました。

この道の駅は 2016 年 3 月 26 日に開業した北海道新幹線と道南いさりび鉄道の木古内駅の駅前にあり、新幹線開業よりひと足早く、2016 年 1 月 13 日にオープンしました。開業以来、北海道じゃらんが発表した「道の駅満足度ランキング」で、北海道の 128 軒の道の駅の中で 4 回 1 位を獲得しました！販売コーナーの商品はとても充実しており、青森を含む北海道と周辺地域の約 900 点以上の商品を取り扱っています。ここでしか買えない地域限定商品もあります。



道の駅のグルメ

「どうなん de's」のイタリアンレストランや、みそぎ浜の海水から作ったみそぎの塩を使った地域限定のみそぎ塩ソフトも人気です。

「道の駅 みそぎの郷 きこない」は木古内町の道の駅でありながら、木古内町だけでなく、連携する道南西部 9 町を中心に広域の魅力を集めているのが最大の特徴です。木古内町は函館、松前、江差といった道南の観光地に一時間ほどで行くことができるので、道南観光の拠点としてもおすすめです。また、地道の駅内の観光案内コーナーには、北海道全域のパンフレットだけでなく、東北情報や仙台、青森までのパンフレットも揃っています。木古内駅から仙台まで 2.5 時間、東京まで 4 時間で、旅行者たちは木古内駅を拠点に北海道や青森、本州を周遊することもできます。しかも、ここの駐車場やコインロッカーはすべて無料で利用できます！



木古内町の職員さんが描いた可愛い多言語グルメマップ

子の一日常想

函館は中国人の間で非常に人気があります。多くの方が函館山や五稜郭といった函館を代表する観光スポットを訪れますが、道南いさりび鉄道を利用した日帰り旅行の魅力については、まだ知らない人も多いようです。今回実際に体験してみたところ、沿線の風景、美味しい食べ物、そして親切な人々に心を打たれました。朝ゆっくり起きてから五稜郭駅で一日乗車券を購入し、沿線の景色を楽しみながら、いさりび鉄道のロマンを満喫するのは、とても良い選択ではないでしょうか。



黄昏時、木古内駅で道南いさりび鉄道に乗り、夕日を眺めながら帰路につきました。道南いさりび鉄道沿線には、日本の古くて良き伝統を守る佐女川神社と寒中みそぎがあり、異国情緒あふれるトラピスト修道院もあります。また、現代技術を駆使した新幹線や、おしゃれな道の駅「みそぎの郷きこない」を楽しむことができ、鉄道の歴史を語る北斗星号にも触れることができます。この素晴らしいローカル鉄道の沿線に住む人々は、地域に癒されながら、平和で心豊かな日々を送っています。私たち国際交流員 3 人も、この旅を通じて大いに癒されました。

初めまして、夕張市にいる JET 参加者 5 年目、Ashlee Marrell と申します。暑く晴天の日が多いオーストラリアから来たので、北海道へ派遣されると知ったときは、本当に驚きました。夕張に到着した日が、人生で初めて雪を見た記念すべき日になりました。趣味は太鼓で、夕張太鼓グループ「竜花」の一員として一年を通して演奏しています。読書とドライブも大好きで、北海道の道の駅スタンプラリーをコンプリートするのが目標です。



なぜ日本・北海道へ？

私が日本へ関心を持ち始めたのは、大学生のときです。当時、私は日本映画における神道の話題についてのエッセイと、神道の創造神話に関するグループ課題に取り組んでいました。このとき、全く趣向が異なる講義にもかかわらず、思いがけず2度も神道について調べることになったため、日本に興味を持つよう



になりました。そこから日本への関心が深まり、2018 年に夫と日本旅行をしました。この旅行で日本を大好きになり、1 年後二人で JET プログラムに応募しました。

JET 参加者としてどんなことをされていますか。

私の仕事は他の ALT の皆さんと大きく変わらず、主に夕張小学校と中学校で英語を教えることです。金曜日には夕張市の可愛い幼稚園児たちにも英語を教えます。2 週間に 1 回夕張市民が参加できる英会話教室を開催し、昨年からは「英語カフェ」を始めました。「英語カフェ」では 1 か月に 2 回みんなで集まって、お茶を飲んだりお菓子を

を食べたりしながら英語でしゃべります。

Ashlee Marrell さんが経験した日本と母国の違いや共通点は何ですか。

オーストラリアは移民が多く、国民の半数が海外出身の親を持ちます。世界各国の生活様式が持ち込まれてきたため、オーストラリアの文化は常に変化し、様々な価値観や感覚が共存しています。でも、一方で、残念なことに、オーストラリアは歴史的な記録が少なく、多くの先住民の伝統が抑圧されてきたため、長く続けられている伝統は多くありません。だからこそ、何百年も続く伝統と有する日本に住むことはとても面白いです。私が勤めている夕張市の学校にも、100 年以上前から保存されたものが展示されています。

これまでの北海道生活で印象に残っているエピソードを一つ聞かせてください！

これまでの印象的な思い出は、大晦日に夕張神社で太鼓を演奏したことです。雪の中、夕張市民が来年の幸運を祈りにやってくる姿を眺めながら、提灯と火の明かりだけで太鼓を叩きました。このような日本ならではの経験ができて、とても特別でしたし、ようやく地元のコミュニティーに受け入れてもらえた実感できた一日でもありました。

夕張市、または空知地方のどんなところが好きですか？

夕張市ののどかさが大好きです。夕張市は山間部さんかんぶですので、年間を通して自然が綺麗です。暖かい季節には、住んでいる家の近くにある平野を渡るシカの群れを毎晩眺めることができます。夕張市はとても居心地のいい場所です。



北海道の

国際交流たより

周年を迎える 4 つの姉妹友好地域を紹介！

北海道では姉妹友好提携と結んでいる 6 ヶ国 10 地域と 5 年ごとに記念事業を実施しています。2025 年には、カナダのアルバータ、アメリカのマサチューセッツ、韓国の釜山広域市・ソウル特別市と協定締結周年を迎えます。1980 年のアルバータとの初の姉妹提携締結以降、各地域とスポーツや教育、非対面事業など様々な分野で活発な国際交流を続けています。

スポーツ交流とのつながり

そのうち、私にとって最も興味深い交流事業は、北海道とアルバータの「カーリング交流」です。今や誰もが知っているウィンタースポーツのカーリングが北海道に定着するようになったのには、アルバータとの交流が重要な役割を果たしたことを、ご存知でしたか？カーリングがまだ北海道であまり知られていなかった 1980 年に、アルバータは講師を派遣して北海道にカーリング講習を行いました。その後もカナダの元世界チャンピオンが北海道を訪れ、講習会を開くなど、カーリングは急速に北海道に広がりました。アルバータとの交流が北海道のスポーツ文化に大きな影響を与えたのです。これは姉妹友好交流が私たちの日常とどのようにつながるかを示す良い事例だと思います。

韓国でもカーリングはそんなに有名ではありませんでした。しかし、2018 年の平昌^{ピョンチャン}オリンピックで韓国女子カーリングチームの「チームキム」が銀メダルを取ったことでカーリングへの関心が急増しました。また、韓国人は日本人と同じくスポーツが大好きですが、日本と違って野球よりはサッカーが人気です。特に、韓日の試合がある時は勝負欲が普段より強くなり、韓国選手がゴールを決めるたびに街中から歓声が響き渡るほど熱気が高まります。

このように、勝負の結果が大事な試合ではお互いに悪いイメージを残すこともあります。しかし、「昨日の敵は今日の友」という言葉があるように、スポーツほど友情を深めるのに良い媒体はないと思います。どんなスポーツでも最初は勝利のために競争しますが、試合後は一緒に努力したという絆が生まれ、雰囲気や和気あいあいとなることが多いです。そのため、韓国でカーリングに対する関心が高まったことや、韓国人の勝負欲や情熱を踏まえて、これから韓国との間でもカーリングによる交流が行われるといいと思いました。特に「冬」のイメージが強い北海道がウィンタースポーツを媒介に交流を提案するなら、喜ばない地域はないでしょう。

北海道では、今後も多様な分野で交流を継続していく予定です。2025 年に周年を迎える 4 つの地域との交流事業においても、その努力は継続されていくと思います。今後の活動も引き続き赤れんが通信を通じて皆さんにお伝えしていきたいと思っています。



ミニ樽とほうきでの練習風景
1980年 常呂町



北海道らしいデザイン

2024年11月2日、中国黒竜江省と交流のある北海道デザイン協議会が主催する「まるデ展～Tシャツ展&履歴書展～」が紀伊國屋書店札幌本店で開催されました。今回の展示会では、グラフィック、建築、ファッションなど、様々なジャンルの16名のデザイナーによる34着のTシャツ作品が展示されました。「〇と〇」をテーマに、各デザイナーがTシャツ2枚1組にして、独自の表現力と創造力を発揮していました。また、25組の会員デザイナー・企業のパネルが展示され、北海道ならではのデザイン視点を紹介しました。

展示会の期間中、私たち3人の国際交流員は北海道デザイン協議会会長である伊藤千織さんをインタビューしました。伊藤会長によると、北海道デザイン協議会はインテリア、ファッション、農業、パッケージなど、さまざまなジャンルの会員メンバーを持ち、この展示会の趣旨について、「異なるジャンルのデザイナーが共通のテーマであるTシャツを通じて、そ



れぞれの独自の発想を表現することです。Tシャツを媒介として、自分のデザイン理念を多くの人々に伝えたい」と語りました。

北海道は日本国土面積4分の1を占める雄大な大地であり、人口が比較的少ないことから、道民はのんびりとした人が多いイメージが強いです。北海道の人はこの土地に根ざし、日本最大の食糧及び酪農生産地を築き上げました。また、農産品や酪農製品を食品加工業と連携させ、優れたパッケージデザインによって製品に付加価値を加え、道産食を世界中に広めてきました。北海道のデザイナーたちは、アートの自己表現と顧客の要望を融合させ、北海道デザインという特別なブランドを作り上げています。「北海道デザインとは、過去と現在をつなぎ、自然と人工の調和を図り、固

定観念にとらわれない自由な発想で生まれるデザインです」と、伊藤会長は語りました。

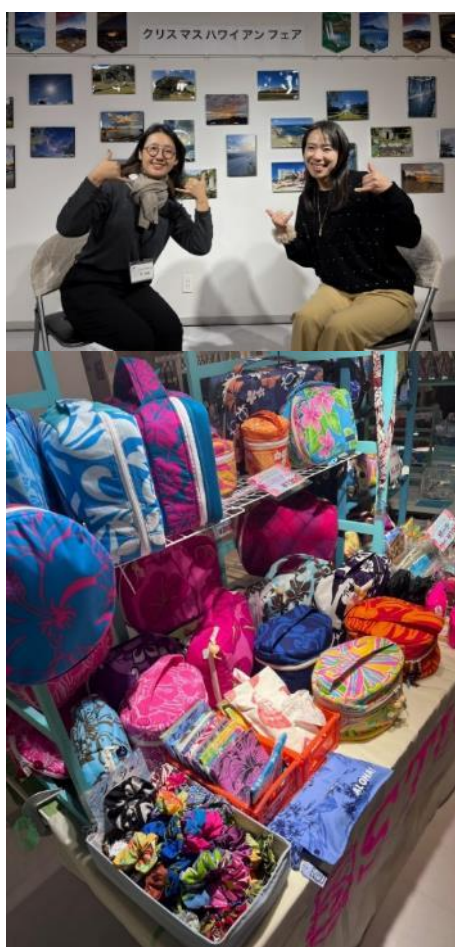




真冬の中の小さなハワイ、クリスマスハワイアンフェア！

皆さん、雪がどっさり積もった北海道でハワイに出会えるということ、ご存知でしたか？ 12月16日から22日まで、ル・トロワ7階では、ハワイの魅力を知らせる特別なイベント「クリスマスハワイアンフェア」が開かれました。

会場には主催者や北海道の住民が撮影したハワイの写真が展示されていて、そこに入った瞬間ハワイを感じることができました。その他にもハワイアングッズショップやハワイのカレンダーとコーヒーまで！それぞれ小さなハワイが北海道にあるようでした。会場に置いてあったパンフレットにはハワイの青い海とおいしい食べ物の写真がいっぱい載せられていて、一番おいしそうなお口モコの写真を見るとハワイに対する好奇心がさらに高まりました。



こんな素敵なイベントを主催したのは、ほかでもない「大竹千夏」さん！ 大竹さんは30年前からのハワイでの生活を皮切りに、ハワイの魅力に魅了され、その魅力を日本に知ってもらうために10数年間、様々なイベントやラジオ放送などを通じて活動しています。活動の原動力は、ハワイを愛する日本人との出会い！ハワイの日本人ネットワークが狭いことに寂しさを感じたという大竹さんは、自分の活動を通じてネットワークが広がっていくことに達成感を覚え、2017年に北海道とハワイが姉妹友好提携を結んだ日には、自分の活動はもはや使命だと思ったそうです。

コロナの影響で新千歳とハワイの直行便がなくなり、日本人観光客の減少という困難もありましたが、大竹さんは来年もフェアを開いて活動を拡大していきたいとのことでした。

暖かい気候、青い海、多くの国の人が訪れる楽園、ハワイ。ハワイに興味がある方は、これからのハワイのイベントに参加し、その魅力を直接感じてみてはいかがでしょうか。ハワイを愛する人との出会いが、迷った足取りを確信に変えてくれるでしょう！

